



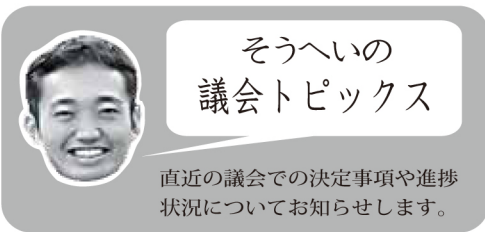
皆様、いつもお世話になっております。秋から冬へ、そして年末へと向かうこの季節、いかがお過ごしでしょうか。

奄美市議会も9月定例会が終わり、24年度の行財政活動についての決算認定をしました。また、前回の市議選から2年が経ち、任期も残り半分となりました。新人という気分を捨て、議員の本分である「チェック・提言・決定」という働きに磨きをかけるべく、これからも

政策調査・研究や情報収集・発信、各種相談などに積極的に取り組んで参ります。

いま、奄美群島日本復帰60周年を記念する様々な行事が行われています。皆様と一緒に心から喜びを分かち合うと同時に、61年目の将来を切り拓いていく力強い奄美の姿を目指して、皆様とともに歩んで参りたいと願っております。

安田そうへい



1 平成 25 年第 3 回定例会 (9 月定例会) における主な議案等です。

- 25 年度一般会計補正予算第 2 号 (①基金積立金 6.9 億円、②緊急経済対策事業 8 千万円、③起業支援型地域雇用創造事業 63 百万円、プレミアム商品券発行事業助成金 2 千万円、④保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 15 百万円、おがみ山公園整備 12 百万円、⑤農産物輸送コスト支援パイロット事業補助金 68 万円、⑥ノラネコ調査業務 50 万円、職員の給与削減による人件費減額等) 合計 6 億円 ⇒ 結果、25 年度一般会計総額は 318 億円
- ・①の内容は、庁舎整備基金 4.5 億 (現在高 19.6 円)、財政調整基金 1.3 億円 (同 20.7 億円)、地域振興基金 1 億円 (同 5.4 億円)
- ・②の主な内容は、定住促進住宅の整備改修、前肥田港野積場路盤改修、小中学校や保育所の整備改修等
- ・③の内容は、テレマーケティング人材育成事業、ICT 技術者人材育成事業、本場奄美大島紬販路開拓のための図録作成事業で、合計 33 名の新規雇用を見込む
- ・④は市内 7 認可保育所の保育士の待遇改善を図るために全額国・県から支給されるもの
- ・⑤は 12 月に出荷する地元産かぼちゃの本土向け輸送コストの一部を支援するもの
- ・⑥はノラネコの苦情が多い市内数カ所において、最大 150 匹を対象に去勢・避妊をしたり、モニタリング調査をしたりするもの
- 25 年度国民健康保険事業・水道事業等 6 特別会計
- 企業会計の補正予算
- 子ども・子育て会議条例
- 黒糖焼酎による乾杯を推進する条例
- 国立ハンセン病療養所の職員削減を行わず、医療・看護・福祉の充実を求める請願 ⇒ 採択となりました
- 消費税増税中止を求める意見書を政府に提出することを求める陳情 ⇒ 不採択となりました

2 本庁舎建設提言特別委員会について

本庁舎は現在の位置 (名瀬幸町) に建設されることが決まりました。来年末の基本構想策定に向けて、市民アンケートの内容を精査中です。今のところ、30 年度から建設工事が始まり、31 年度末に完了する予定です。

3 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会について

第 1 回目の会合では、地元の環境省職員から、現在の進捗状況や課題について説明を頂きました。今後も引き続き、専門家を招いて調査・研究を進めていきます。

集 特 決 算 審 査

平成24年度

決算審査とは？

「決算」は、歳入歳出予算に基づく収入と支出の結果を集計した計算書であり、また予算を執行した結果どのような成果を挙げたかを示す成果報告書でもあります。議会はこれらを審査して各種事業・施策の行政効果や経済効果を測定・評価することにより、後年度の予算編成や行財政運営の改善・向上を目指すものです。

平成 24 年度決算額	歳 入	歳 出
一般会計	333 億 1197 万円	323 億 6904 万円
特別会計	135 億 7160 万円	141 億 7222 万円
合 計	443 億 2731 万円	439 億 8500 万円

※特別会計とは、国民健康保険事業・介護保険事業・公共下水道事業等、全 11 事業の会計です。

※合計について、一般会計から各特別会計への繰出金（重複する分）を除いています。

以上のことから
分かることは、

奄美市の行政を運営し、様々な事業を維持するのに、この一年で 440 億円近くの経費を使ったということ（水道事業約 20 億円は除く）。これを市民一人当りの金額に換算すれば、おそらく県内 19 市の中でも多くの経費がかかっているグループに属するのではないかと考えられます。



難しいことばの解説を
豆知識にまとめましたので
ご参照ください

- 一般・特別両会計の合計では歳入が歳出を上回っており、その意味では収支は健全といえます。ただ個別で見えていくと、国民健康保険事業特別会計は 6 億 7711 万円の赤字となっており、収支の改善が必要です。
- また、23 年度一般会計の決算額・歳入 346 億 60 万円、歳出 334 億 1426 万円と比べると、24 年度は歳入・歳出とも減っていますが、その主な要因は歳出において
- 災害復旧事業費が 13 億円余り減った（23 年度は豪雨災害の復旧事業が多かった）
- 人件費が 1 億円減った
- 普通建設事業費が ←

豆
しき



【財政力指数】：自治体の財政力を示す指数で、1 に近いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。1 を超えると地方交付税が支給されない不交付団体となる。

【経常収支比率】：自治体の財政構造の弾力性を測定する比率で、自由に使えるお金のうち、人件費・扶助費・公債費等の義務的経費が占める割合。値が低いほど、独自の政策に使えるお金が多いことを示す。

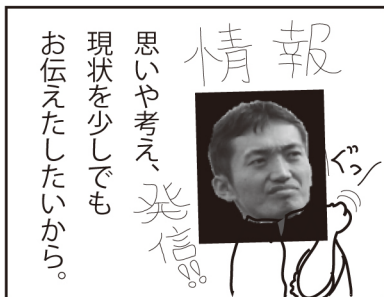
【実質公債費比率】：自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。通常、3 年間の平均値を使用。18% 以上だと新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要となり、25% 以上だと借金を制限される。

【将来負担比率】：公社や出資法人も含め、自治体が将来支払う可能性のある負債の一般会計に対する比率。350% 以上で早期健全化団体となる。

※参考資料：『地方公共団体財務会計実務の要点』、コトバンク、ウィキペディア

壮平がいく!

画：志之助



経営指標? 他に、主な経営指標として、財政力指数や経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率などがあります。

24年度	実績値	前年度比	判定	県内19市順位
財政力指数	0.25	±0	変化なし	19位
経常収支比率	94.6%	+0.9	悪化	17位
実質公債費比率	11.9	-0.7	改善	13位
将来負担比率	82.1	-11.9	改善	17位

行財政運営 私が考えるに、数年前に発表されたように、奄美市がすぐに財政破たんするということはありませんが、県内他市と比べた場合にまだまだ財政健全化を目指す必要があります。

※参考資料…『議員必携』 わせてご覧ください。

このからの 行財政運営 ということ、改善が見られたのが2つ、悪化したのが1つ、変化なしが1つとなりました。

また、奄美市の人口減少の状況を考えると、今後の行財政運営はもつと慎重に進めるべきだといえます。

- 7 / 12 南海日日新聞討論会 (参院選について)
- 16 大島北高教育振興協議会総会
- 23 本庁舎建設提言特別委員会、議会運営委員会 (9月定例会日程について)
- 24 市内小学校水泳記録会
- 8 / 1 住用町嘱託員会 (区長会、10 / 1も参加)
- 3 ~ 4 奄美まつり舟こぎ大会・パレード (市議会チームで参加)
- 8 市町村政研修会@鹿児島市
- 13 議会だより編集委員会
- 14 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会
- 15 名瀬戦没者合同慰霊祭
- 22 学力向上フォーラム (市教育委員会主催)
- 28 議会運営委員会 (議案・請願・陳情の取り扱いについて)

- 9 / 3 9月定例会開会
- 4 ~ 6 一般質問 (5日の5番目に登壇)
- 10 本会議 (現年度議案についての総括質疑)
- 10 ~ 11 各委員会審査 (文教厚生委員会に所属)
- 11 一村忌 (田中一村を偲ぶ会)
- 16 敬老の日祝賀会@文化センター
- 18 本会議 (現年度議案13件を可決、24年度決算議案についての総括質疑)
- 19 ~ 24 決算審査特別委員会 (一般会計審査を担当)
- 30 ~ 10 / 6 松下政経塾生の現地調査・研修受け入れ
- 10 / 8 最終本会議 (決算等議案15件を可決)

7月中旬～10月上旬の主な活動

そうへいの 一般質問レポート



冒頭の 所見

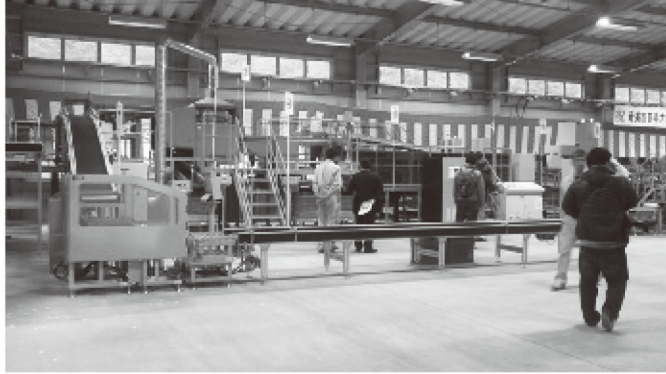
議員としての政治思想や
信条を表す思い・メッセージ。

今

回の一般質問では、今年度の奄美市最大の課題を「景気の回復」と「経済の活性化」ととらえ、さらにこのことを「安定的な雇用の拡大」につなげていく必要があると考え、経済・産業政策に絞って、行政当局と質疑応答いたしました。

は

じめに、本市は長期継続的に人口が減少している状況下で、



■今年1月、奄振事業を活用して名瀬朝戸地区に整備された選果場。総工費約3億円、たんかんをはじめ果樹ブランド化の装置として活用が大いに期待されます。



■今年6月、鹿児島市内の天文館にオープンした瀬戸内町のアンテナショップ。オープニングセレモニーに、大勢のお客様が訪れ、大いに賑わっていました。

そ

れから、産業重点3分野の農業につ

本市の経済・産業についての現状認識をうかがいました。近年改善傾向が見られる有効求人倍率だけでなく、市内総生産額や一人当たりの市民所得、市税収入等の推移を踏まえて答弁を頂き、危機感の共有を図ることができたのではないかと感じています。

いては選果場の活用を、観光・交流については本土や沖縄へのアンテナショップの開設を、ITについてはインフラや集積拠点の整備を提案しました。また、伝統的特産品である大島紬や黒糖焼酎の振興策についても議論や提案をしたり、市民の皆様から好評を頂いている「住宅リフォーム助成制度」や「プレミアム商

品券発行事業」がより多くの方々に活用して頂けるような運用改善の提案をしたりしました。詳細については、議会だよりやしーまブログ9月7日〜22日付記事、奄美市ホームページにある「定例会会議録」(12月掲載予定)等をご覧ください。今後ともご指導のほど、よろしくお願いたします。



そうへいからの お知らせ

- 「出前報告会」を行います！

現在、定期の報告会については開催予定はありませんが、ご要望頂ければ出張報告に伺わせて頂きますので、よろしくお願いたします。



- 本チラシの「配布ボランティア」を募集しております！
- お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたら、お気軽にお寄せください！
- しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも活動情報発信中です！

※安田そうへい連絡先：
奄美市名瀬古田町5-7
電話：54-7621 / FAX：54-7620
Eメール：sohei@mskj.or.jp